

ワクチン情報の説明

RSV (呼吸器合胞体ウイルス) ワクチン: 知っておくべきこと

Many Vaccine Information Statements are available in Japanese and other languages. See www.immunize.org/vis

多くのワクチン情報の説明が、日本語やその他の言語で利用することができます。
www.immunize.org/vis をご覧ください。

1. ワクチン接種を受ける理由は?

RSVワクチンは、呼吸器合胞体ウイルス (Respiratory Syncytial Virus, RSV) によって引き起こされる下気道疾患を予防することができます。RSVは一般的な呼吸器ウイルスで、通常は軽度の風邪のような症状を引き起こします。

RSVは通常、他の人の咳やくしゃみの飛沫が、目や鼻、口に直接接触することにより広がります。また、ウイルスが付着しているドアノブなどの表面に触れた手を洗わずに顔をさわってしまうことにより広がる場合もあります。

RSVはあらゆる年齢層に病気を引き起こす可能性があります。特に乳児や高齢者では重篤化するおそれがあります。乳児や高齢者で心臓や肺の病気、免疫系の衰弱などの慢性的な疾患がある方、あるいは老人ホームや長期介護施設に入居している方の場合、RSVにより重篤な病気や合併症が起こるリスクが非常に高くなります。

RSV感染症の症状には、鼻水、食欲減退、咳、くしゃみ、発熱、喘鳴などがあります。ほとんどの人は1~2週間で回復しますが、RSVは重篤となって息切れや酸素濃度の低下が生じることもあります。RSVは、喘息、慢性閉塞性肺疾患 (呼吸がしにくくなる肺の慢性疾患)、うっ血性心不全 (心臓から十分な血液と酸素が体内に送り出されない状態) などの他の病状の悪化につながることもあります。

RSVで重症となった高齢者や乳児は、入院が必要となる場合があります。死亡する場合があります。

2. RSVワクチン

60歳以上の成人は、医療従事者とよく相談の上、RSVワクチンの単回投与を受けることが、CDCによって推奨されています。

RSVワクチンは他のワクチンと同時に接種してもかまいません。

3. 担当の医療従事者にご相談ください

以下のような方がワクチンを受ける場合には、担当するワクチン接種を行う医療従事者にご相談ください。

- これまでにRSVワクチンの接種後にアレルギー反応を起こしたことがある、または重度の生命を脅かすアレルギーがある

場合によっては、担当の医療従事者がRSVワクチンの接種を次回の来院まで延期するように判断する場合があります。

風邪などの軽い病気にかかっている場合でも、ワクチン接種を受けることができます。病気が中程度または重度の場合は、回復してからRSVワクチンを接種するほうがよいでしょう。

詳しい情報については、担当の医療従事者にお尋ねください。



U.S. Department of
Health and Human Services
Centers for Disease
Control and Prevention

4. ワクチン反応のリスク

- ・RSVワクチンの接種後に、注射した部位の痛み、赤み、腫れ、疲労（倦怠感）、発熱、頭痛、吐き気、下痢、筋肉痛や関節痛が起こることがあります。

ごくまれに、RSVワクチンの接種後にギラン・バレー症候群 (Guillain-Barré Syndrome, GBS) をはじめとする重篤な神経疾患が発生したことが臨床試験で報告されています。これらの事象がワクチンによって引き起こされたのかどうかは不明です。

ワクチン接種を含め、医学的な処置により失神する方もいます。目まいや視力の変化、耳鳴りなどを感じたら、担当医療従事者にお伝えください。

どんな医薬品でもそうであるように、ワクチン接種により重度のアレルギー反応や、その他の重篤な傷害や死亡が起こる可能性はごくわずかにあります。

5. 重度の問題が起きたら？

アレルギー反応は、ワクチン接種を受けたクリニックからの帰宅時に生じることがあります。重度のアレルギー反応の症状（蕁麻疹、顔やのどの腫れ、息苦しさ、速い鼓動、目まい、倦怠感）がみられた場合は、9-1-1に電話し、お近くの病院を受診してください。

気にかかる他の症状がある場合は、担当の医療従事者にお電話ください。

有害反応は、Vaccine Adverse Event Reporting System (ワクチン有害事象報告システム:VAERS) に報告する必要があります。通常、担当の医療従事者がこの報告書を提出しますが、あなたもご自身で提出することができます。VAERSのウェブサイト www.vaers.hhs.gov にアクセスいただくか、1-800-822-7967までお電話ください。VAERSは反応の報告のみを目的としているため、VAERSのスタッフは医学的な助言は行いません。

6. 詳しい情報を知るには？

- ・担当の医療従事者にお尋ねください。
- ・お住まいの地域または州の保健局にお電話ください。
- ・ワクチンの添付文書および追加情報については、Food and Drug Administration (米国食品医薬品局:FDA) のウェブサイト www.fda.gov/vaccines-blood-biologics/vaccines をご覧ください。
- ・Centers for Disease Control and Prevention (疾病管理予防センター: CDC) にお問い合わせください。
 - 電話 1-800-232-4636 (1-800-CDC-INFO) または
 - ウェブサイト www.cdc.gov/vaccines

Japanese translation provided by Immunize.org

